

揖斐川町消防辞令交付式

～地域を守り、安心安全なまちをめざして～

3月24日(日)、揖斐川町消防辞令交付式が、揖斐川町中央公民館で行われました。

今回、消防団員58人が新しく入団され、新入団員の代表による宣誓が行われました。また、71人が退団され、65人が昇任されました。

式典の中で、長年消防団員として活躍された皆さんに、日本消防協会長表彰の伝達が行われました。表彰を受けられたのは、次の皆さんです。(敬称略)

日本消防協会長表彰

精績章

分団長

駒月 光明
こまつき みつあき

副分団長

澤崎 哲也
さわさき てつや

勤続章

副分団長

澤崎 哲也
さわさき てつや

辞令交付式後には、消防ポンプ自動車配置式が行われ、脛永分団に新しい消防ポンプ自動車配置されました。

宗宮町長は「消防ポンプ自動車を更新することで、消防団活動がより一層活性化し、強化が図れると信じています。郷土の守りに万全を期していただき、消防団員の皆さんの益々の活躍に期待しています。」とあいさつしました。



▲消防ポンプ自動車配置式



▲新入団員代表による宣誓の様子

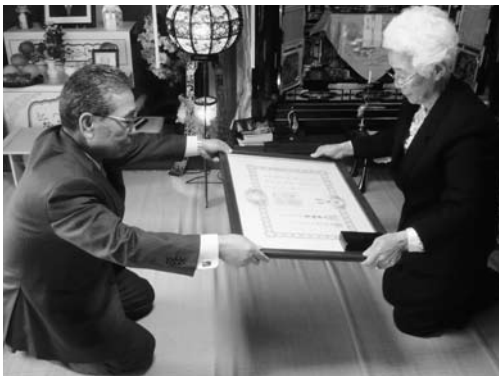
叙勲(旭日単光章)受章

1月13日(日)に亡くなられた羽實正義さん(三倉)が旭日単光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

羽實さんは、平成3年4月から平成17年1月まで、4期13年9か月の永きにわたり旧久瀬村議会議員として在職され村の基幹的産業である農林業の振興を図り、都市との交流を推進し、観光産業施設整備等に多大な貢献をされました。

特に平成11年5月から2年間は、議長として議会の円滑な運営に尽力されました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

カーブミラー清掃奉仕活動

～揖斐川ライオンズクラブ～

3月6日(水)、揖斐川ライオンズクラブの会員によるカーブミラーの清掃活動が行われました。

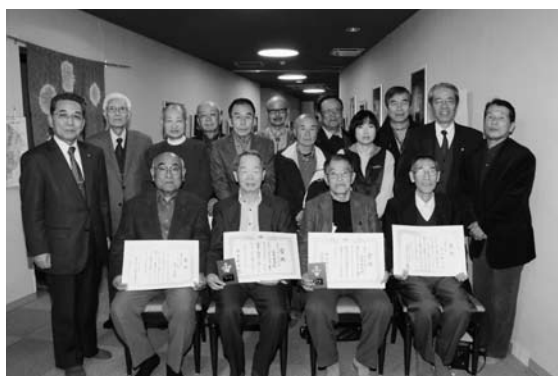
揖斐川ライオンズクラブは、献血の呼びかけや町内各地の清掃、町内各幼児園へのサンタクロース訪問活動など様々な社会貢献活動を展開しています。

この日は、会員約30人が参加して揖斐川地域のカーブミラー清掃活動を行いました。清水会長は「特に冬の間に汚れたカーブミラーを清掃することで、交通安全に貢献し、安心安全な地域づくりにつながっていくことを願っています。」と話されました。

揖斐川ライオンズクラブの皆さん清掃活動ありがとうございました。



▲カーブミラー清掃の様子



▲フォトコンテストで入賞された皆さん

第3回ふるさと春日 フォトコンテスト入賞者表彰式

3月13日(水)、春日六合の「かすがモリモリ村」で、春日地域の自然・歴史・文化などをテーマにした「第3回ふるさと春日フォトコンテスト」の表彰式が行われました。
応募総数130作品のうち19作品が入賞し、表彰式には、揖斐川町長賞に選ばれた馬淵公明さん(神戸町)ら入賞者が出席しました。
馬淵さんは「立派な賞をいただき、うれしいです。写真に収めた滝の場所を教えてくださいました地元の方や皆さんのおかげです。」と話されました。
応募作品は、「かすがモリモリ村」で展示されています。

次世代エネルギーシステムを導入して防災拠点の機能を強化

道の駅「星のふる里ふじはし」で完成記念式典

3月16日(土)、道の駅「星のふる里ふじはし」(東横山)で、太陽光発電や燃料電池、蓄電池などを組み合わせた「防災機能強化型次世代エネルギーシステム」の完成記念式典が行われました。県により導入されたこのシステムは、情報交流館の屋根に太陽光発電設備を取り付け、燃料電池とリチウムイオン蓄電池を整備。大規模災害等による停電時には、館内の情報機器や屋内外の非常用コンセント、駐車場や公衆トイレも含めた照明分の電気を確保することができます。昼間に太陽光発電と燃料電池を利用して情報機器に電気を供給しつつ蓄電池に充電し、夜間は燃料電池と蓄電池で電気を供給することとしており、このシステムによって、数日間の避難生活ができるということです。

県は、中山間地域集落の災害時孤立対策として、地域防災拠点として位置づけられている道の駅に太陽光発電や燃料電池、蓄電池(次世代エネルギー)を導入し、災害時等に電力供給が途絶えた場合にも情報提供機能や避難所としての機能を維持するための電力確保について実証を進めており、防災型のシステムを道の駅に導入したのは全国で初めての取り組みとなりました。
式典で宗宮町長は「揖斐川町は急

峻な山々を抱え、大規模地震などでの孤立化が心配されるため、このような防災拠点を活用して、広域的な防災に取り組んでいきたいと思えます。防災・減災、避難所の確保は自治体の課題です。このシステムを活用し、県内外に発信していきたいと思えます。」とあいさつしました。



▲完成を祝ってテープカット



▲エネルギーシステムを使って設備概要の説明が行われました

中学生海外研修報告会

リーダーとしての成長

3月21日(木)、揖斐川町役場で、中学生海外研修派遣事業の報告会が行われました。

今回は、1月17日～25日に実施した、アメリカユタ州セントジョージ市への研修派遣団17人の中学生と引率者が報告をしました。

生徒からは、「挑戦すること、真剣にやること、遊ぶこと、学ぶこと、すべてを楽しんだ」、「アメリカの文化、日本の文化それぞれが素晴らしいのでそれを共有できる関係が大切だと思う」、「自分がチャンスを活かすために勇気を出して歩むことを学んだ」など、リーダーとして頼もしい報告がありました。そして、参加した生徒全員が周囲の方々に感謝し、仲間を大切にする思いやりの心を成長させることができた研修でした。



▲リーダーらしく自信に満ちあふれた報告

住民参加で初の原子力防災訓練

3月23日(土)、住民参加で初めての原子力防災訓練が行われました。

この訓練では、災害対策本部運営訓練、モニタリング(監視)訓練、避難・スクリーニング(身体表面汚染検査)等を実施し、岐阜県ならびに揖斐川町の防災体制の実効性を確認しました。

訓練は、敦賀原発で放射性物質が漏えいし、揖斐川町方面からのルートで流入するという想定で実施されました。

今回は、原発事故等の際に避難や屋内退避などに備えるUPZ(緊急時防護措置を準備する区域)に該当している坂内川上地区などの住民約50人が参加し、避難を呼びかける放送が流れると、素肌の露出を避けるレインコートやマスク、帽子を着用した住民が退避所となっている地区の集会所に集まり、避難バスで揖斐川町中央公民館に移動し、スクリーニング検査を受けるなどの訓練を実施しました。

訓練に参加した方々は「訓練で具体的な動きは確認できたが、高齢者の避難方法や季節風などの影響も知りたい。」「万が一本当の原子力災害が起きたら実際の避難はもっと大

変だと思う。放射性物質は目に見えないということに不安がある。」と話していました。

また、役場庁舎の防災対策本部室では、揖斐川町役場と岐阜県庁に設置された災害対策本部を原子力防災ネットワークシステムを利用して中継し、テレビ会議方式で放射性物質の観測状況や避難・支援物資などについての情報交換をする訓練が行われました。



▲避難住民のスクリーニング訓練



▲防災対策本部室での情報交換訓練

総務大臣表彰受賞

～選挙管理委員としての功績～

この度、森悦郎さん(瑞岩寺)が、第46回衆議院議員総選挙表彰で総務大臣表彰を受賞されました。

森さんは、平成8年10月に旧揖斐川町選挙管理委員会の委員長に就任。また、平成17年1月の町村合併後も本年3月まで揖斐川町選挙管理委員会の委員長として、長年、選挙の管理執行および啓発事業に従事されており、これらの功績から、今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。



▲総務大臣表彰を受賞された森さん

揖斐川町が「LINE」始めました

3月25日(月)からスマートフォン(多機能携帯電話)などのコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」を使用した揖斐川町公式の「LINE@」アカウントの運用を開始しました。

イベント情報、観光情報、災害時等の緊急情報、くらしに関わるお知らせなどが配信されます。

①「LINE」利用登録

初めに、LINEの利用登録をしてください。

【接続先URL】

<http://line.naver.jp/>

②友だち登録

LINEの利用登録が終了したら、「友だち追加」からID検索するか、次のQRコードを読み込んで「友だち登録」をしてください。



【アカウント名】揖斐川町
【LINE ID】@ibigawatown



▲揖斐川町のマスコットキャラ「カッパの河太郎」が情報を提供します!